

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年4月10日(2008.4.10)

【公表番号】特表2007-526312(P2007-526312A)

【公表日】平成19年9月13日(2007.9.13)

【年通号数】公開・登録公報2007-035

【出願番号】特願2007-501867(P2007-501867)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/4353 (2006.01)

C 0 7 D 498/12 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/08 (2006.01)

A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 25/14 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

A 6 1 P 21/02 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/4353

C 0 7 D 498/12

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/08

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 25/14

A 6 1 P 25/04

A 6 1 P 21/02

A 6 1 P 9/10

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月25日(2008.2.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

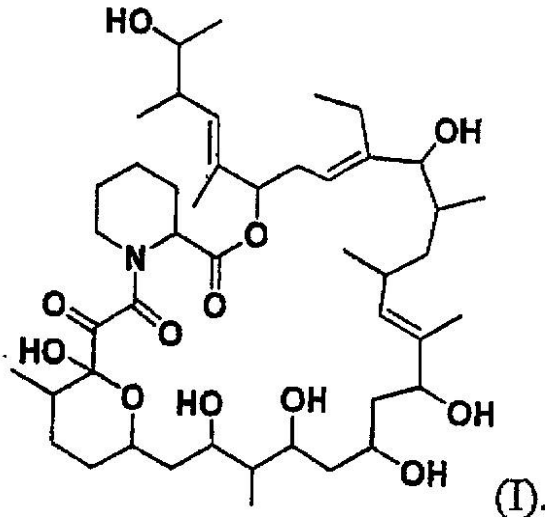
有効量のメリダマイシンまたはその塩を含む、神経系疾患を治療するための医薬組成物

。

【請求項2】

メリダマイシンが式(I)の構造を有する、請求項1に記載の医薬組成物。

## 【化 1】



## 【請求項 3】

メリダマイシンが 1 またはそれ以上の下記特徴：

見掛け (apparent) 分子式： $C_{45}H_{75}O_{12}N$

分子量：陽イオンエレクトロスプレー  $m/z = 844.8(M+Na)^+$ ；陰イオンエレクトロスプレー MS  $m/z = 821.1(M-H)^-$ ；高分解能フーリエ変換 MS  $m/z = 822.53637(M+H)^+$

紫外吸収スペクトル： $\lambda_{max}$  nm (アセトニトリル/水) = 210 nm、端吸収；

旋光度  $[\alpha]_D^{25} - 1.4$  (c 1.0, MeOH)；および

図 1 の陽子磁気共鳴スペクトル

を有する、請求項 1 に記載の 医薬組成物。

## 【請求項 4】

前記治療が、神経系疾患に罹患している哺乳動物を同定することをさらに含む、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の 医薬組成物。

## 【請求項 5】

前記治療が、哺乳動物における神経変性の程度を評価することをさらに含む、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の 医薬組成物。

## 【請求項 6】

化合物を投与する前に評価を行う、請求項 5 に記載の 医薬組成物。

## 【請求項 7】

化合物を投与した後に評価を行う、請求項 5 に記載の 医薬組成物。

## 【請求項 8】

神経系疾患が、てんかん、脳卒中、脳虚血、脳性麻痺、アルパーズ病、パーキンソン病、アルツハイマー病、ハンチントン病、筋萎縮性側索硬化症、多発性硬化症、レヴィー小体認知症、レット症候群、神経障害性疼痛、脊髄外傷または外傷性脳損傷である、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の 医薬組成物。

## 【請求項 9】

神経系疾患が、老年認知症、レヴィー小体認知症、軽度認知障害、アルツハイマー病または認知低下である、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の 医薬組成物。

## 【請求項 10】

化合物を、1 またはそれ以上の薬学的に許容される担体、賦形剤または希釈剤と混合する、請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載の 医薬組成物。

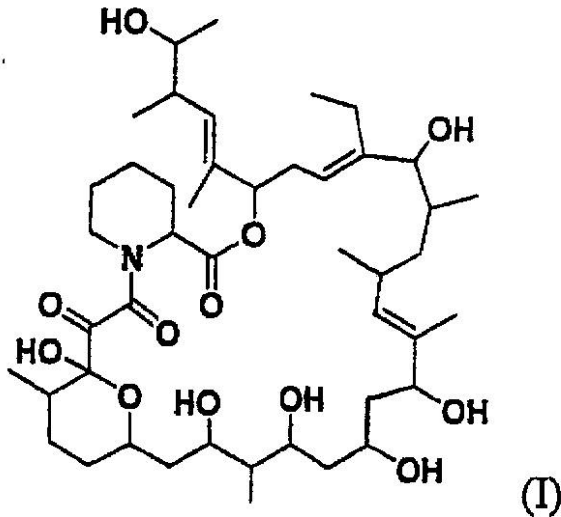
## 【請求項 11】

神経系疾患の治療薬の製造における、メリダマイシンまたはその塩の使用。

## 【請求項 12】

メリダマイシンが式 (I) の構造を有する、請求項 11 に記載の使用。

## 【化 2】



## 【請求項 1 3】

メリダマイシンが 1 またはそれ以上の下記特徴：

見掛け分子式： $C_{45}H_{75}O_{12}N$

分子量：陽イオンエレクトロスプレー  $m/z = 844.8(M+Na)^+$ ；陰イオンエレクトロスプレー MS  $m/z = 821.1(M-H)^-$ ；高分解能フーリエ変換 MS  $m/z = 822.53637(M+H)^+$

紫外吸収スペクトル： $\lambda_{max}$  nm (アセトニトリル/水) = 210 nm、端吸収

旋光度  $[\alpha]_D^{25} - 1.4$  (c 1.0, MeOH)；および

図 1 の陽子磁気共鳴スペクトル

を有する、請求項 1 1 に記載の使用。

## 【請求項 1 4】

神経系疾患が、てんかん、脳卒中、脳虚血、脳性麻痺、アルパーズ病、パーキンソン病、アルツハイマー病、ハンチントン病、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症、レヴィー小体認知症、レット症候群、神経障害性疼痛、脊髄外傷または外傷性脳損傷である、請求項 1 1 から 1 3 のいずれか一項に記載の使用。

## 【請求項 1 5】

神経系疾患が、老年認知症、レヴィー小体認知症、軽度認知障害、アルツハイマー病または認知低下である、請求項 1 1 から 1 3 のいずれか一項に記載の使用。